

令和2年度第2回 日進市にぎわい交流館運営協議会議事録

日 時 令和3年2月9日(火) 午後6時00分から7時00分まで
 場 所 市役所本庁舎第一会議室
 出 席 者 安廣貴、加藤容子、齋藤由美、上野道子、岡本浩輔、石原貴代、
 関千里、水口美知子、水藤芳枝(敬称略)
 欠 席 者 竹下啓
 事 務 局 岡部功(市民協働課長)、蟹江砂織(市民協働課主幹)、
 長原詠子(市民協働課課長補佐)、藤永崇(市民協働課係長)、
 秋山里奈(市民協働課主事)
 指定管理者 小濱勇、寺田裕美、楠優子(敬称略)
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 無
 議 題 (1) 令和2年度にぎわい交流館運営状況について
 (2) 令和3年度にぎわい交流館運営計画について
 (3) その他

| 発 言 者 | 内 容 |
|-------|--|
| 事 務 局 | 開会を宣す。(午後6時) |
| | 委員長挨拶。 |
| 事 務 局 | 以後の議事の取り回しを、委員長に依頼。 |
| 委 員 長 | 会議の傍聴者の確認。 |
| | 傍聴申し出無し。 |
| 委 員 長 | 議題「(1)令和2年度にぎわい交流館運営状況について」及び「(2)令和3年度にぎわい交流館運営計画について」に関して、一括で説明を求める。 |
| | 議題 (1) 令和2年度にぎわい交流館運営状況について (2) 令和3年度にぎわい交流館運営計画について |
| 指定管理者 | 資料1に沿って議題(1)及び(2)をまとめて説明。 |
| 委 員 長 | 質疑・意見を求める。 |
| 委 員 | にぎわいギャラリー開催数減少の理由は何であるか。 |
| 指定管理者 | 4、5月休館したことや、再開してからも来館者が少ないことから、出展者が出展を控えたことも原因。また、今までは1ヶ月3回だったものを1ヶ月2回に変更し、同じ方の展示は季節に1回と回数制限を設けるなど、今年度からルールを変更し、開催回数が減ったことも一因かと思われる。 |
| 委 員 | コロナ対応等大変な一年であり、にぎわい交流館には敬意を表する。各事業についてはコロナで致し方ない部分があるものの、大学も新しい生活様式等が身について、オンラインから対面へとステップアップしてい |

| 発 言 者 | 内 容 |
|-------|---|
| | る。次年度はにぎわい交流館も次のステップへ進むことを期待したい。 |
| 委 員 | ランチを休むと来館者が減るが、今後何か案は考えているか。 |
| 指定管理者 | ランチ再開についてはハードルが高いとは考えている。再開した場合、喫茶の充実についても検討していきたい。 |
| 委 員 | マスクの販売を行っているが、今は様々な種類があるので今後種類を増やしてはいかがか。 |
| 指定管理者 | ご意見として承る。 |
| 委 員 | (2) にぎわい交流館登録団体数の説明の際に、次年度以降の更新に対して返答なしが90団体とのことだったが、団体からの反響が少ないと見受けられる。原因は何と考えるか。また、今後アプローチする予定はあるか。 |
| 委 員 長 | 90団体という数は例年比で特に多くないと認識しているが、それも踏まえて回答していただきたい。 |
| 指定管理者 | この時期で返答無しが90団体というのは、例年比で突出はしていないと認識している。今後一斉メールではなく、返答無しの団体宛に個別でメールをする予定。 |
| 委 員 長 | 休館中アンケートで、これまでの活動ができずモチベーションが保てないという団体もあるので、ソフトな形でアプローチしていただきたい。 |
| 事 務 局 | 補足として、(2) にぎわい交流館登録団体数については、前回更新時の数も参考にし、市としても適正な計画と考えている。 |
| 委 員 長 | 相談の対応は件数が増加し、次期に向けた飛躍のポイントと考えている。 (2) 運営計画の受託事業及び自主事業については、コロナの状況にあわせて柔軟に対応されるということによろしいか。 |
| 指定管理者 | そのとおり。状況に合わせて何かしら違う形に変え、とどまることのないようにしていきたい。 |
| 委 員 | にぎわい交流館の開館について基準はあるのか。 |
| 指定管理者 | 6月開館時に基準にしたのは愛知県の指針。にぎわい交流館利用時のルールについて、ご利用の皆様にはご理解をいただき感謝している。 |
| 委 員 長 | 質疑・意見を求めるもなく、次の議題へ移る。 |
| | 議題 (3) その他 |
| 事 務 局 | その他について議題なし。 |
| 委 員 長 | 本日の議題の審議について全て終了したが、他にあるか。 |
| 事 務 局 | 次回の協議会について説明する。閉会を宣す。 (午後7時) |